

## 慶應義塾大学大学院 文学研究科 修士課程

### 国文学専攻 国文学分野

#### 3つのポリシー

##### 【ディプロマ・ポリシー】

国文学専攻国文学分野では、課程修了時に学生が身につけるべき能力として以下のものを定め、学則に従って修了要件を満たし、修士論文審査に合格した学生についてはこの能力を身につけた者と認め、修士（文学）の学位を与える。

1. 国文学研究ならびに日本語学研究の分野において、研究領域全般に関する専門知識を修得し、独自の研究テーマに関する専門的調査を行ない、その成果を公表できる。
2. 国文学研究ならびに日本語学研究を内容として修士論文を執筆し、さらに、修士論文のテーマに関連する領域については包括的で深い専門知識を有し、その領域の研究に貢献をすることができる。
3. 日本文化の文化的、歴史的、地理的特性を客観的に把握してゆく中で直面する重要な問題を認識し、それを解決してゆくための議論や実践に資するリサーチ能力、批判的分析能力、プレゼンテーション能力を身につけ、高度な日本文化及び異文化リテラシーを備えた社会人、研究者、教育者として日本社会及び国際社会に貢献できる。

##### 【カリキュラム・ポリシー】

国文学専攻国文学分野では、ディプロマ・ポリシーの達成を目的として以下のカリキュラムを編成する。

1. 国文学ならびに日本語学を対象とした講義演習科目群を設置するとともに、書誌学（斯道文庫講座）、芸能史等の関連科目も開講することで、研究を展開するために必要な専門知識、本文読解能力、資料分析能力、思考力及び議論構成力を養成する。
2. 修士論文の執筆を可能とするため、指定された指導教員が中心となって個別論文指導を行ない、研究テーマについての知識を深めるとともに、高度な調査能力及び論述能力を養う。
3. 異なる環境を通じて高度な日本文化リテラシーを身につけるために、日本国内・国外で開催される研究集会への参加を推奨する。

## 【アドミッション・ポリシー】

国文学専攻国文学分野では、次のような資質を持つ学生を求めている。

1. 卒業論文執筆や専門科目の履修等を通じて自身の専門領域についての理解を深め、国文学ならびに日本語学の領域全般についての基礎知識を有している。
2. 大学院在籍中に何をどのような方法で研究したいのかという具体的な研究計画を立てている。
3. 文献資料を正確かつ批判的に読むことのできる基礎的な読解力、学術的内容を論じることのできる基礎的な論述能力を身につけている。
4. 修士課程修了後の社会人、研究者、教育者としてのキャリアについて、積極的に考えている。